

経営比較分析表（平成28年度決算）

長野県 塩尻市

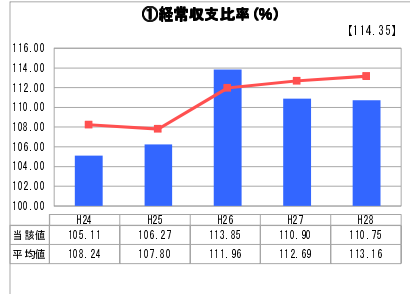
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	67.31	96.25	3,070	

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
67,534	289.98	232.89
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
64,948	72.50	895.83

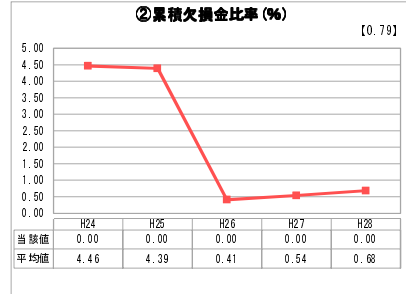
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- [] 平成28年度全国平均

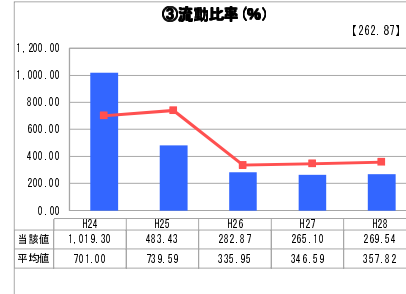
1. 経営の健全性・効率性



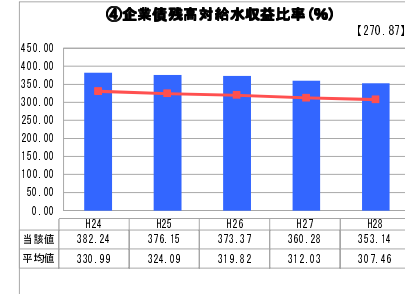
「経常損益」



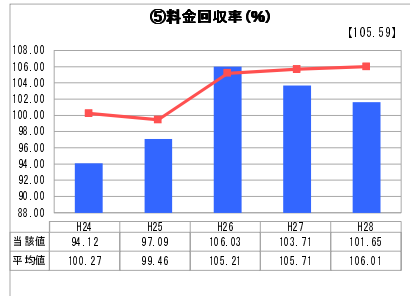
「累積欠損」



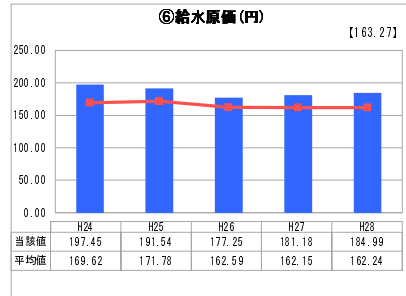
「支払能力」



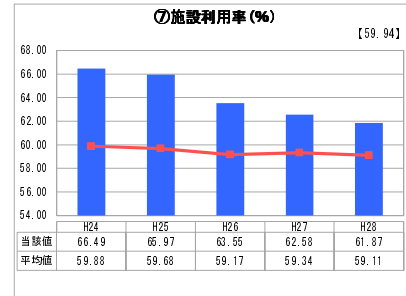
「債務残高」



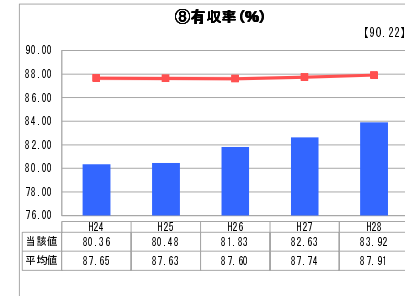
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

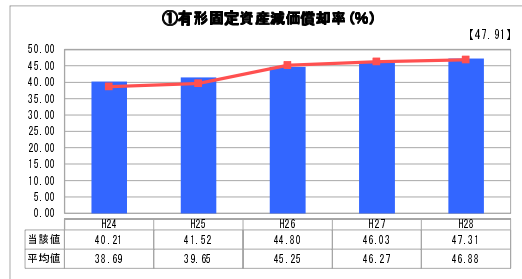


「施設の効率性」

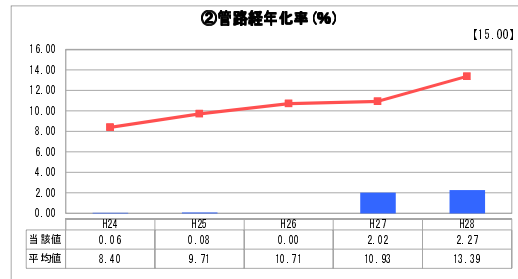


「供給した配水量の効率性」

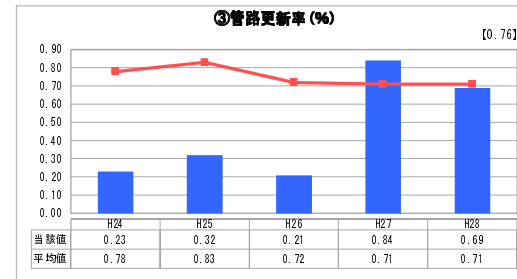
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、100%以上を維持し、経常損益は黒字となっています。
- ② 累積欠損金比率は、直近5年間で欠損金を計上していません。
- ③ 流動比率は、平成26年度から会計制度の見直しにより、1年以内に償還する企業債を流動負債に計上したことにより、大きく減少しております。類似団体平均を下回っていますが、100%を超え、短期的な債務への支払能力は確保されているといえます。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は、類似団体平均より高く、企業債残高が多いと言えます。経年比較では着実に減少しており、今後も投資の在り方等の検討や、企業債以外の財源確保による企業債借入の抑制など、削減に努めていきます。
- ⑤ 料金回収率は、類似団体平均よりやや低い状況ですが、100%を上回っており、料金収入で給水に係る費用を賄えているといえます。
- ⑥ 給水原価は、類似団体平均を上回り、高い水準となっています。今後は投資の効率化や維持管理費の削減といった経営改善に取り組んでいきます。
- ⑦ 施設利用率は、類似団体平均より高い水準で推移しており、減少傾向となっております。今後も確実な供給能力を確保しながら、需要に合わせた施設規模の適正化を図る必要があります。
- ⑧ 有収率は、類似団体平均より低い状況です。今後は漏水対策を進め、施設の効率性を向上させ、指標の改善に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均とほぼ同じ水準で推移しています。
- ② 管路経年率は、類似団体平均より大きく下回っています。
- ③ 管路更新率は、類似団体平均とほぼ同じ水準となっております。

今後、法定耐用年数を迎える管路が増加する見込みであり、管路の更新計画に沿った更新等を実施し、管路更新率を高めていきます。

全体総括

今後の水道事業経営にあたっては、水道料金への影響を最小限とし、将来にわたり利用者の負担をできる限り抑えるため、投資の平準化及び整備コストの削減を図っていきます。

また、施設の重要度や健全度に応じた修繕や更新を行うことで、施設の延命化及びライフサイクルコストの低減を図っていきます。

水需要の減少に伴う給水収益の減収が予想されるなか、老朽施設の更新等に多額の投資が必要となりますが、投資と財政のバランスに配慮し、長期的視野に立った効率的で効果的な事業展開を図り、更なる経営改善に取り組むことで、健全で持続可能な事業経営に努めていきます。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。